

# リスクマネジメントとジェンダー平等



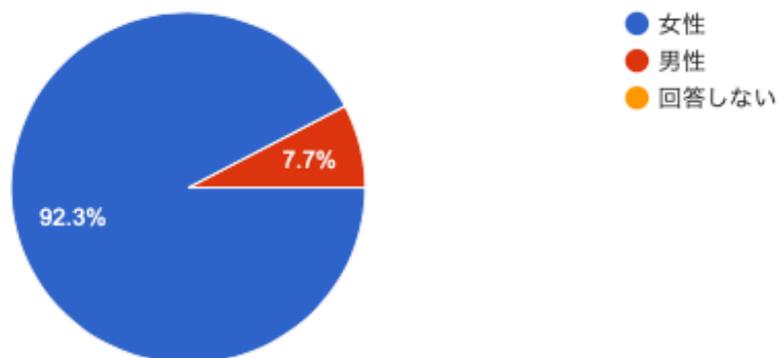
～コロナの経験から新たな世界を創る～

## 【アンケート結果】

### ● 基本項目

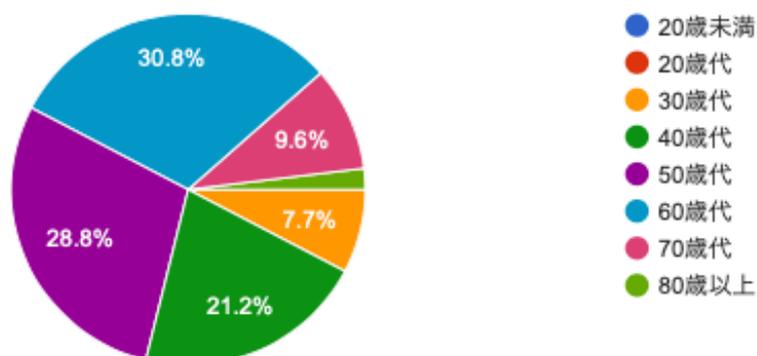
#### 1.性別

52件の回答



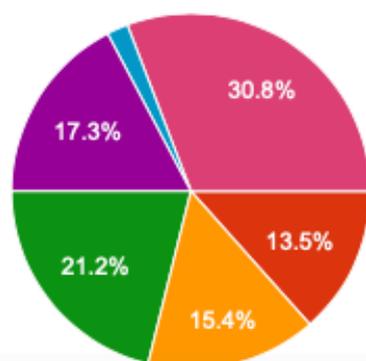
#### 2.年齢

52件の回答



### 3.職業

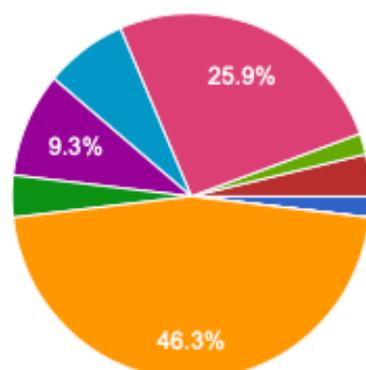
52 件の回答



- 学生
- 会社員
- 公務員
- 自営業
- 団体職員
- 主婦又は主夫
- その他

### 5.本日のシンポジウムをお知りになったきっかけについてお答えください。（複数回答可）

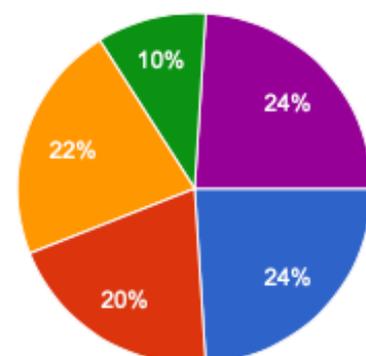
52 件の回答



- チラシ・ポスター
- 内閣府メールマガジン
- 日本BPW連合会からの案内
- BPWホームページ
- その他共催・後援団体からの案内
- 所属先（職場・学校等）からの紹介
- 家族・友人からの紹介
- 新聞・メディア
- その他

### 6.グループディスカッションのテーマはどれでしたか？

50 件の回答

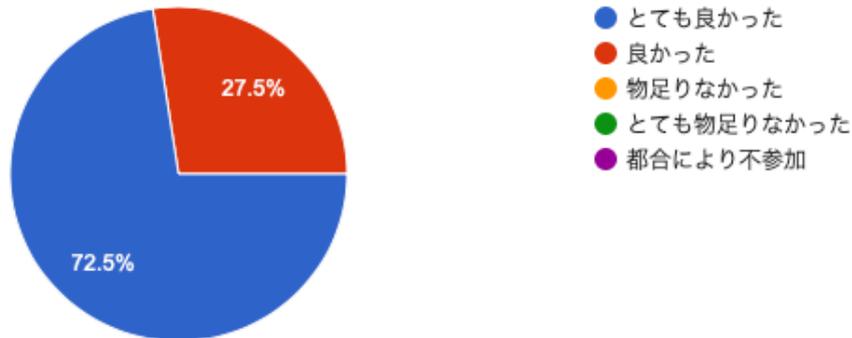


- 教育（学ぶ 教える）
- 仕事（雇う 雇われる 営む）
- 政治（政策を作る 支援される）
- 地域活動・家庭（助け合う 連携 コミュニティ）
- 都合でグループディスカッション不参加

## ● 評価とコメントの抜粋

### 7-1)リレートーク

51 件の回答



7-1)＜コメント欄＞良かった点・今後活かそうな点、また、内容が物足りなかった点・改善すべき点など、ご自由にお聞かせください。

30 件の回答

様々な立場の方からジェンダーに関する取り組みや意見を聞いて大変勉強になりました。

さまざまな視点からのお話を聞くことができ、これからの展望が開けた気がしました。

リスクマネジメントの新たな視点は今の社外役員の仕事にも、また、災害時の想定にも活かせると思った。他の講師の選定も素晴らしく、お話もすべて納得がいく内容でした。ジェンダー問題の多様な視点を整理されお聞きすることができた。また、日々の取組を改めて確認して、頑張っていく気持ちに応援をいただきました。参加させて頂き良かった。

時間管理が正確にされていて、長いディスカッションではありましたが、非常にテンポが良かったです。

様々な領域の有識者から、お話をいただき、現状認識を深めることができた。

資料も分かりやすく、中でも男女共同参画推進プランの第5次に関する説明が分かりやすかった。参加してよかったと思いました。その他のトークも勉強になりました。

現状が改めてよくわかった。

いろんな分野の女性の思いをお聞きできてよかった

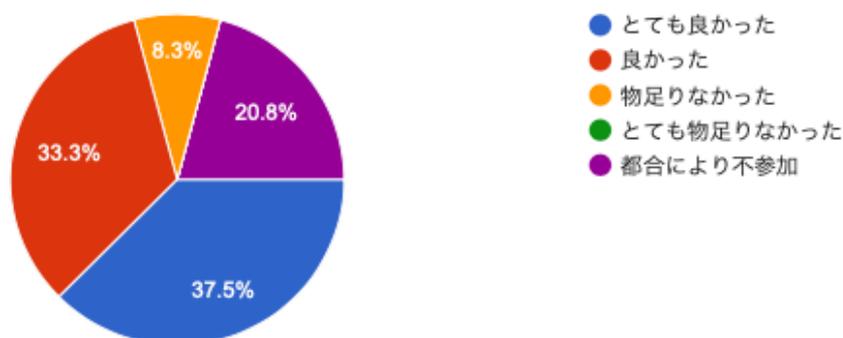
テンポが良かった

特に「リスクとELSIの考え方ーコロナ新時代に向けて」がよかった。

多様な立場・角度からのお話をいただけて、新しい視点を得ました。  
また、「声をあげる」ということ自体も、手段として重要であると感じました。

## 7-2)グループディスカッション

48 件の回答



7-2)＜コメント欄＞良かった点・今後活かそうな点、また、内容が物足りなかった点・改善すべき点など、ご自由にお聞かせください。

24 件の回答

全国のジェンダー平等に向けて活躍されている方々と知り合いになれたことが良かったです。

立場の違う方たちと同じ価値観を共有できました。

日本の広範囲からの年齢層も幅広い参加者と話ができ、良い機会となりました。

自分のアクションプランを考えるというアウトプットを設定したことで、議論が進んだと思う。

「教育」のグループだったが、人数は適度だったものの、今回のパンデミックリスクと教育というテーマとのつながりは薄いトークになったように思う。

こちらも様々な立場の方がいらしてとても興味深かったです。もう少し時間があるとよりお話しできてよかったように思いました。

政治にもっと踏み込んだ議論をしたかったが、コロナの影響(Negative and/or positive)を個人的立場からの意見になってしまったのが、残念だった。今の日本のコロナ対策の政府や自治体の対応遅れの責任、そこには生活者目線の女性が少ないからではないかと、もっと大きな声で言いたかった。

数人だったので、もう少し自由に話せる時間があってもよかった。

とても盛り上がり、時間があっという間でした。

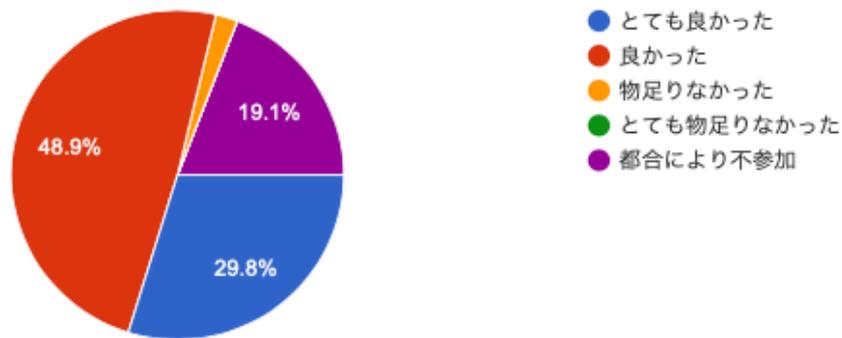
私たちができること、意見は我慢せずに出す、意識啓発の方法の工夫、世代別の課題に対応、大きな政策は議員の役割が重要

時間の範囲内で、要点は話し合いができた。時間がもっとあればより具体的に深く話せたのがやや残念です。

日本のジェンダー平等の国際的な評価が非常に低いことに驚きました。意識改革も重要ですが、ジェンダー平等を目指した社会制度が現実にもどのように活用されているかを調査し、それが少ない理由、改善すべきアクションプランを明らかにすることも一案かと思えます。

### 7-3)アクションプラン作成とアピール採択

47 件の回答



7-3)＜コメント欄＞良かった点・今後活かそうな点、また、内容が物足りなかった点・改善すべき点など、ご自由にお聞かせください。

9 件の回答

それぞれの視点から異なるアクションプランが発表され参考になった。

主催者の狙いが明確でぶれなかった点はよかった。アピールを出すこと自体の是非から、当日の措置についての詰めは、企画の構成を固める段階で行っておくべきと思う。

アクションプランがあまり具体的ではなかった。本来の目的は自分事として考えるべきだのではないかと反省。

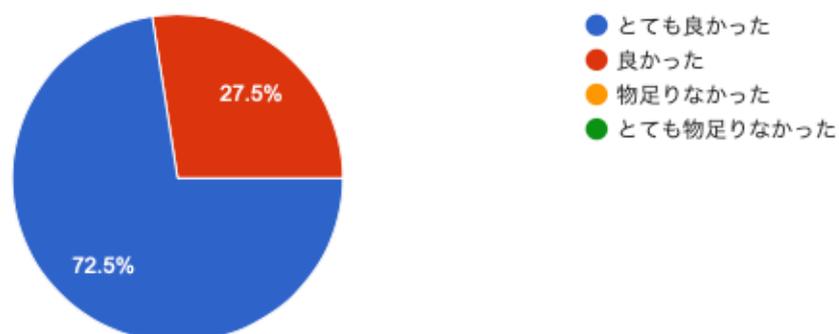
もっと時間が欲しかった。

シェアをする時間が足りなかった

自分の意思表示を、明確にできた。

### 7-4)シンポジウム全体

51 件の回答



7-4) <コメント欄>良かった点・今後活かそうな点、また、内容が物足りなかった点・改善すべき点など、ご自由にお聞かせください。

16件の回答

グループディスカッションの人数がもう少し多いと、より活発な議論になるかと感じました。

会の活気と前向きなムード。神戸チームの企画力と、団結とコミュニケーション、準備対応のスピード感が当日の活気につながったと思う。

zoomでの開催だったので参加が容易でありがたかったです。

オンライン運営は予想以上にスムーズだった。

「男女平等」の為に、男性の意識改革よりも女性の意識改革が必要だと思います。地域や地方では女性が女性蔑視している現実もあることも事実です。

あらゆるところで粘り強く改善に向けて活動をしていく必要があると思いました。

リアルでは出来なかった、リモートのメリットが活かされた会になったと思う。

林局長の力強いご講演、ご発言にパワーをいただき、とても励まされました。グループディスカッションも素敵な出会いの場になりました。

申し込み時点では長く感じていましたが、実際参加してみたら、あっという間でした。全国会議に自宅から参加できるのは、金銭的・身体的負担が軽く、心理的にもハードルが下がるので、大変ありがたいことです。

シンポジウム開催に向けての膨大な準備、ご苦労されたと思います。皆様本当に凄い、ありがとうございました。

このようにハイレベルなシンポジウムに参加でき光栄に思います。

7-1) で記載させていただきました。

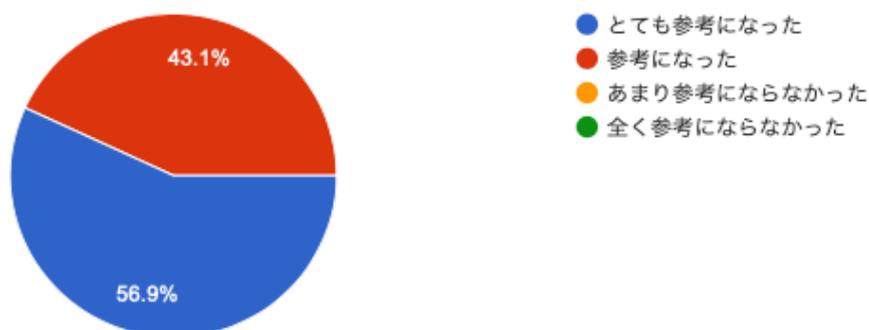
Z o o m会議でのグループ討議は話しやすい状況が作りやすい

Zoomのシンポでしたが、うまく段取りができていて、スムーズで分かりやすかったです。

ジェンダー平等を実現するには、社会制度を法律により改革し、人々の意識変え、更に生活慣習を変えていくことが必よかとも思います。家庭・学校・職場・政治などそれぞれの側面で整合性のある運動が必要かと思えます。

9.本日のシンポジウムは、『今後のあなたの行動』の参考になりましたか。

51件の回答



10.その他、ご意見・ご要望、今後の希望テーマなどご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。

19件の回答

地方から参加しましたが、今後もウェブ開催をしてほしい。また、ネットが苦手と考えている女性が多いので、人生100年時代に向けて、高齢者などにもっとネット環境を活動できるように、学習の機会などを地域レベルで多数作って頂けるよう、地方自治体への予算措置などをしてほしい。

お恥ずかしながら、今までBPWの活動を知りませんでした。また機会がありましたら、ぜひ今回のようなシンポジウムにも参加させて頂きたいと思います。  
今回はありがとうございました。

衆院選に向け、女性の政治参画を加速する、中高生を巻き込める企画、現在の義務教育における現場のジェンダー教育の実態を知る企画、など。

女性の働き方に関するリーディングカンパニーや、女性に限らずダイバーシティを追求するリーディングカンパニーの取り組みについてもうかがえると嬉しいです。

ジェンダー平等という耳を貸さない人にも届くよう、ダイバーシティの重要性からアプローチするような企画を・・・

変わらない・変わらない固定観念を、どうしたら打ち破れるか！ 危機感のない世代が意思決定に関わるリスクを考える機会を

イノベーションを支える工学女子を増やしたく、裾野拡大にお力添えいただけましたら幸いです。本日は、素晴らしいイベント、どうもありがとうございました！

ジェンダー平等など、あまり理解せずに参加してしまいましたが、新しい知識が増えとても為になりました。

平等な社会のための教育と社会連携についてうかがいたいです。教育と社会との接点について考えたいです。

このような学びの会をまた開いて欲しい。ありがとうございました。

BPWの企画に初めて参加しました。ありがとうございました。

## ● アクションプラン（自由記述）

### 8.本日あなたが作成したアクションプランを教えてください

36 件の回答

当面、高等教育機関としてすべきことは、  
正規雇用の職を得る、ことは、男女にかかわらず必要なこと、という意識を学生がもつようにすること。

とくに、理工系の女性をふやすことは、自身の技能や知識を生かす、という意識の女性をふやす、という意味で、有効だろうと思う。

これから、大学等で実施するセミナー等で、この視点を強調するように、していこうと思う。

政治分野で、当事者が声をあげる女性政治家を増やすため、まずは、自分が当選し仲間を増やす。支え合う助け合う事で実現できる。

当事者意識を持って、政治・行政を監視（ウォッチ）し参加する

地域活動では、ゆるいつながりを広げます。また、地域環境や周りの家々の異変を見つけるアンテナを高く持ちます。家庭では、お互いに優しくかつ認め合い、男性も生活技術を身につけるよう働きかける。

- 一、創造的、価値ある仕事にチャレンジする
- 二、子どもの貧困と虐待の解決のために尽力する
- 三、女性のキャリアと働き方を支援する

我慢しない、声をあげる。

私はブレずに好きな事を今後の選択肢として増やして、仕事に取り入れます。

私はオンラインでも、運動と食事を通じて、地域のコミュニケーションのプラットフォームになります。

1. どんな時代変化が起こっても対応できる能力を身に付ける & 2. 自分軸を持って楽しい方を選んでいきいき過ごす！  
（個人的なアクションですみません）

1. 自分の価値（社会に対して何が出来るか）を問い続けること
2. 他者と協業して作り上げる姿勢を大切にすること
3. 企業を通して社会に価値を提供するための環境（仕組みや風土）を作ること

周りの人と話をする

弱者の声を聴く、誰一人取り残さない社会を目指す。

実践できない人を置いてけぼりにしない。誰一人取り残さない。

平時にできないことは有事にできない。故にジェンダー不平等のリスクを筆頭に、普段から未解決の課題を敏感にイメージする努力を重ねること。（書記だったのでどこにも明確に記録はできていません。）

コロナ以前よりも交流を拡張し、多くを学びます。学んだことを積極的に発信します。

関心の無い人にも、ジェンダー平等の思いが届くように、語り掛け続ける

政治の場でも、自治体でも、意思決定にもっと女性が関わる必要がある。まずは、地方から改革を！  
○身近な課題なので女性が関わりやすく、女性議員の姿が見えやすい、が、一方で女性議員のへの壁も大きい  
→これを変える必要あり)  
○若い世代にジェンダー平等の意識をもってもらい、政治に関わって欲しい！多様性の中に、Generation Gap解消も重要。

教育現場において、困り感を持っている人が困っていると言えるように、常にそばに寄り添っていく努力を惜しみません。

コロナ以前よりも多くのコミュニケーションを取ります。そしてそこから得た知見を発信します。

多様な人が混じり、誰もが頼りにされ、知恵を出し合える地域をつくる。

企業活動の強化とESD活動の徹底。

今後、私は、どんな状況でもコミュニケーションを深める手段として、プライベート及び職場で、ITツールを広げること努めることを宣言します。

社員の話、特に気持ちを聴く仕組みを作り運用する

ジェンダーギャップ解消を地方から

リスキリテラシー教育を実践する

裾野を広げるために、地域と若い女性を巻き込み、連携して、政策提言をしていくこと。選択的夫婦別姓制度を制定したい。

クウォーター制導入を求める運動をする。

健康・暴力禁止・雇用・科学技術などの分野で、ジェンダーの視点を生かし、女性も男性も幸せを感じられる社会の実現 優しい心を大切に、政策案の提案支援

あらゆる分野のトップに女性を！！女性自身の声をもっとあげよう！！

コロナで学習機会が減っている学生が平等に学習できるように動画などを利用して支援していこうと思います。

以上